

江戸東京歴史文化回廊

—江戸から東京を結ぶ—歴史文化観光資源—

史跡の国宝である特別史跡江戸城跡は、日本一壮大で美しく、城門や石垣、豊かな水を湛えた外濠や内濠は昔の姿を今に残し失われた天守や本丸御殿の痕跡は往時の姿を想い起こされ、皇居と城郭が併存し四季折々の自然と一体となる雄大な景観に包れた美しい城郭を形成し世界遺産に十分に匹敵すると云われています。

江戸幕府の政庁であった江戸城本丸御殿は、**150 年程前、火災で焼失したために、往時を偲ばせるものは殆んど無く**、一方、御府内（千代田区等 8 区）に至っては多くの歴史文化遺産の分布が広範囲にみられます。

田安門・半蔵門・外桜田門・常盤橋門・神田橋門、即ち、江戸五口から放射線状に延びる旧街道を中心に見られる**七つの歴史文化ゾーン**には、大名屋敷や大名庭園、神社、仏閣、内濠、三十六の見附が残り、最強の要塞であった江戸城外濠、市民の守り神・稲荷神社等が現存し、歴史建造物群」としての姿は、日本史上、群を抜き出た最大規模の「総構え・城郭都市」であったことが偲べれます。

江戸城本丸御殿は儀式や行事に高い格式を重んじた大広間に代表され、芸術性に富む壁面や天井、障子、床や座敷飾り、彫刻欄間、飾金物などに大胆さや優美さが室内意匠の至るところに表現され、極めて秀でた匠の技により見事に表現されていたことが窺われます。

江戸は華道や香道、茶道、武道、俳句や連歌などの興隆はもとより、能、歌舞伎、天下祭りやお神楽等、様々な伝統文化や芸能が、武士のみならず、町人や農民の民衆芸能に至るまで、豊かな文化として育まれていたことが窺われます。

一方、江戸は最も開発が進んだ時代であり、城下町に集められた武家や民衆に関わる遺産、ジェンダー等の社会の問題や矛盾、又は、開発によって生じた災害に関わる遺産も残されており、現在、ダークツーリズムとしても注目されつつあるといえるでしょう。

都市東京は、「伝統と革新」により、豊かな歴史文化観光資源が「観る・食べる・遊ぶ」として散在しています。それらを再発見・再生し群として繋ぐことにより、**今、新たに、よみがえる「江戸東京歴史文化回廊」**として、内外から訪れる多くの人々と、感動と喜びを共に分かち合うことができるのではないのでしょうか。

詳細は当会公式ウェブサイトをご覧ください

<https://zaidan-edojo.or.jp/>



- ・会の基本情報
- ・会の活動
- ・江戸東京歴史文化資源等
- ・入会 寄付のご案内
- ・その他

会費・寄付金お振込先

使途目的：「江戸城全体整備計画の策定」
調査研究活動及び公益認定申請等の為

郵便振替をご利用の場合

郵便振替口座 No.00100-1-363134

口座名 財) 江戸東京

銀行振込をご利用の場合

三井住友銀行 神保町支店 店番 001

番号 2203510 口座名 財) 江戸東京

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

理事長 小竹 直隆

〒102-0075 東京都千代田区三番町 1 - 1 6

Gmail zaidanedojo@gmail.com

江戸城

よみがえれ



江戸城「江戸図屏風」国立歴史民俗博物館所蔵
(小澤弘・丸山伸彦編『図説江戸図屏風をよむ』より転載)



江戸東京博物館所蔵
本丸・二丸御殿(模型)



本丸御殿のメインエリア
平井聖・小粥祐子編『よみがえる江戸城』より転載

近未来の世界遺産を目指す

本丸御殿を中心に歴史文化資源でつなぐ江戸東京歴史文化回廊

よみがえれ！江戸城・城下町

日本橋「熙代勝覧」ベルリン国立アジア美術館所蔵

(小澤弘・小林忠『活気にあふれた江戸の町「熙代勝覧」の日本橋』より転載)



ご参加のお願い

史跡の国宝であり特別史跡における江戸城の再生には世界的評価に資する「江戸城全体整備計画の策定」が必須です。

その為には、第一級の研究者による学術調査研究活動を進めることが前提となります。

同時に、江戸城に関わる文化芸術及び観光振興を公益目的事業として明確化するためにも、できるだけ早い段階での「公益認定の取得」が肝要となります。

これにより、寄付優遇税制も得て多くの個人、篤志家、法人の皆様にご入会やご寄付を募り、調査研究費用に充当させて戴きます。

何卒、皆様のご参加とご支援を賜りますようお願い申し上げます。